

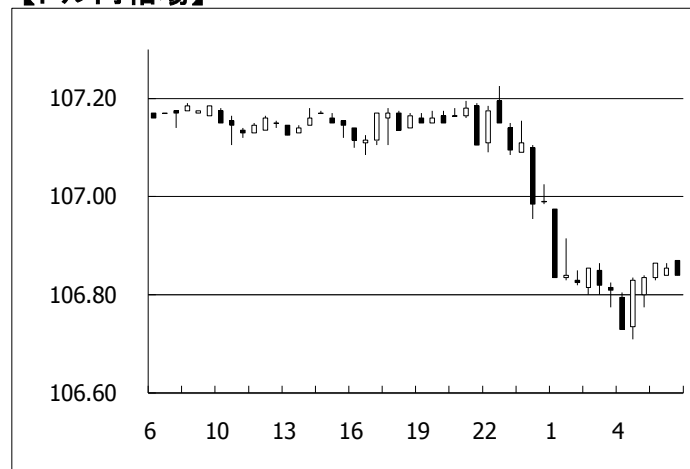
みずほCustomer Desk Report 2020/07/27号 (As of 2020/07/23)

【昨日の市況概要】

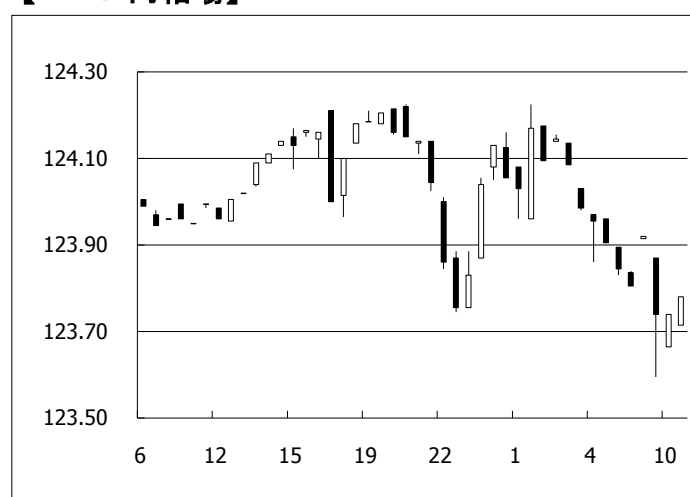
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
TKY 9:00AM	107.17	1.1565	123.96	1.2728	0.7137
SYD-NY High	107.22	1.1627	124.22	1.2759	0.7162
SYD-NY Low	106.71	1.1540	123.75	1.2674	0.7091
NY 5:00 PM	106.86	1.1596	123.92	1.2742	0.7100
NY DOW	26,652.33	▲ 353.51	日本2年債	-	-
NASDAQ	10,461.42	▲ 244.71	日本10年債	-	-
S&P	3,235.66	▲ 40.36	米国2年債	0.1523	0.00bp
日経平均	-	-	米国5年債	0.2683	▲0.64bp
TOPIX	-	-	米国10年債	0.5766	▲2.30bp
シカゴ日経先物	22,560	▲225	独10年債	-0.4835	1.05bp
ロンドンFT	6,211.44	4.34	英10年債	0.1220	0.15bp
DAX	13,103.39	▲ 0.86	豪10年債	0.8780	▲0.70bp
ハンセン指数	25,263.00	205.06	USDJPY 1M Vol	5.40	0.13%
上海総合	3,325.110	▲8.05	USDJPY 3M Vol	6.00	0.10%
NY金	1,890.00	24.90	USDJPY 6M Vol	7.04	0.10%
WTI	41.07	▲ 0.83	USDJPY 1M 25RR	-0.80	Yen Call Over
CRB指数	142.94	▲ 0.38	EURJPY 3M Vol	7.33	0.01%
ドルインデックス	94.69	▲0.30	EURJPY 6M Vol	7.90	▲0.01%

アジア	アジア時間のドル円は107.17レベルでオープン。東京市場休場で薄商いの中、新規材料にも乏しく、横ばい推移。107.11～107.18と極めて狭い値幅で推移し、オープンほぼ同水準となる107.15レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.15レベルでオープン。東京休日で動意なし。107.09～19円で推移し107.19レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2747レベルでオープン。高値圏で上値重い展開。CBIによる英7月製造業受注調査が予想を下回る回復だったこともあり1.2685まで下落し結局1.2688レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、東京市場が本日からの4連休で休場となる中、107.09～107.19の狭いレンジで小動き。東京都内のコロナウイルス新規感染者数が初めて300人以上となるも、市場の反応は限定的で、107.19レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が3月以来初めて増加に転じ、107.08まで下落する場面もあったが、フロリダ州やテキサス州の感染者数拡大を受けて、事前に予想されていたことから、すぐに値を戻す。また、ムニューシン米財務長官が「米国は安定したドルを望む」と発言したことが伝わるも、ドル円の反応は限定的。その後、米上院共和党のコロナ対策法基本案にトランプ大統領が望んでいた給与税減税が含まれないことが伝わると、米株の下落とともに円買い優勢となる。また、対ユーロのドル売りが波及したこともあいまって、106.84まで下落。午後はハイテク株の利益確定売りや米中対立激化懸念を背景に米株が軟調に推移する中、下値模索の展開。一時106.71をつけ、売りの巡後は小幅値を戻し、106.86レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.15後半で底堅く推移。独8月消費者信頼感指数が予想以上に改善したことが伝わる中、1.1598まで買われ、1.1572レベルでNYオープン。朝方は欧州株の上げ幅縮小や米失業保険の指標を控え、リスク志向のドル買いが巻き戻され1.1540まで下落。売りの巡後、ユーロ圏の景気回復への楽観的な見方から全面的なユーロ買いが強まり、一時1.1627まで上昇する。午後は米株の軟調推移にドルが買い戻され、じりじりと下落し、結局、1.1596レベルでクロス。

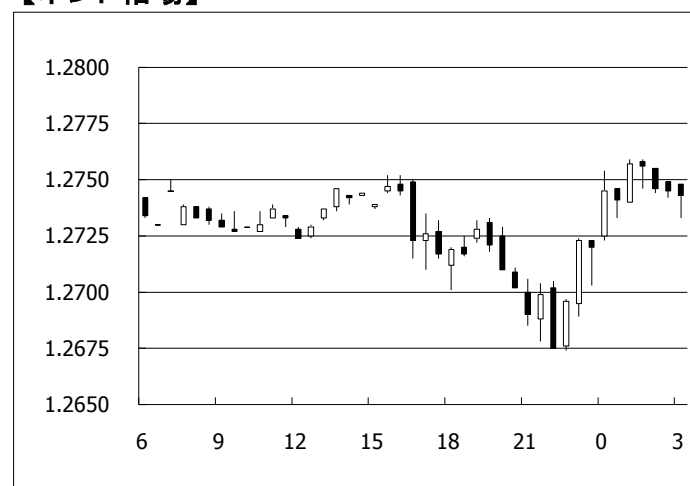
【ドル円相場】



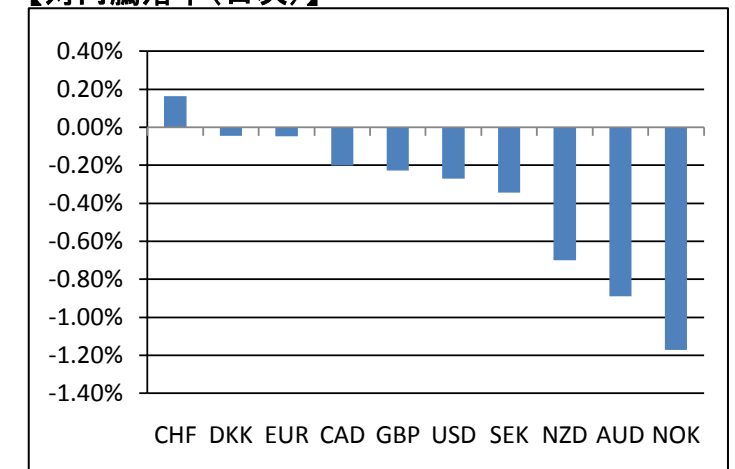
【ユーロ円相場】



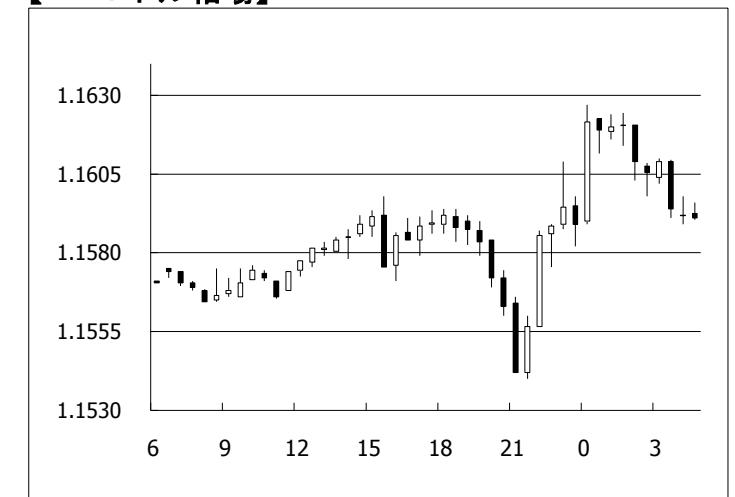
【ポンド相場】



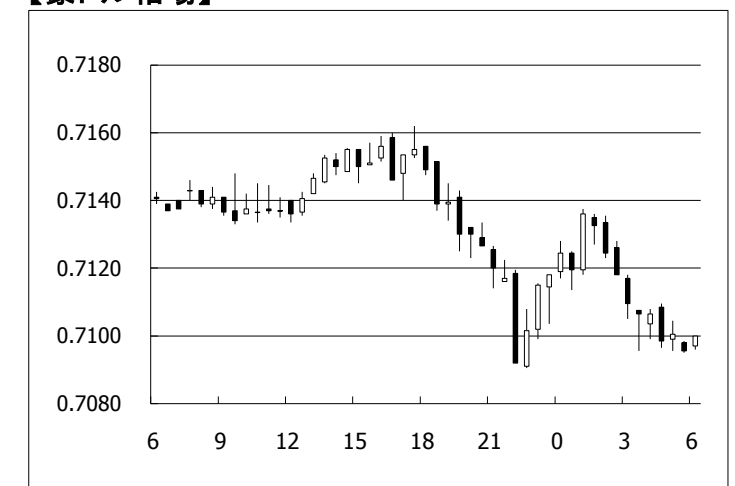
【対円騰落率(日次)】



【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。